

磐田市

桶ヶ谷沼

ビジターセンター



2012年1月15日

だより

第92号

開館時間：午前9時～午後5時(月曜日 休館)

住所：438-0016 磐田市岩井315 電話：0538-39-3022 FAX:0538-39-3023

ホームページアドレス <http://www.city.iwata.shizuoka.jp/okegaya-vc>

あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願い申し上げます。

桶ヶ谷沼ビジターセンター職員一同

桶ヶ谷沼に続々とカモの群れが

昨年の11月頃より、続々とカモ類が飛来(ひらい)し、2,000羽を超(こ)えたかと思えます。コハクチョウは11月初めに5羽、12月初めに4羽が飛来し、桶ヶ谷沼と鶴ヶ池を行ったり来たりしています。(1羽が12月30日に死亡、鳥インフルエンザ検査は陰性)

また、セイタカシギ、アカハシハジロ(初記録)、カワアイサ(初記録)などの水鳥も飛来しましたが、現在は見る事ができません。

沼南の木道から北の水路を眺(なが)める(右上写真)と、水路の両岸にコガモやマガモ、オオバンなどを見ることができます。



今までは、ヤナギの木があって、沼を見渡(みわた)すことができませんでした。このヤナギが伐採(ばっさい)されたため、多くのコガモたちが両岸に集うようになりました。この場所からも、北奥の方で泳いでいるコハクチョウを見ることができますが、やはり、観察小屋Cからのほうが見やすいようです。

観察小屋Cからは、左写真のように水面狭(せま)しと泳いでいるカモ(マガモ、カルガモ、オナガガモなど)の集団も見ることができました。

桶ヶ谷沼に多いカモ類の紹介

<p>マガモ(オス) 緑色の頭と黄色いくちばしが目立つ淡水ガモ類です。沼の水鳥の70～80%を占めています。草の実や水草などを食べます。(冬鳥として飛来)</p>	<p>コガモ(オス) 茶色の頭に緑の帯、尻の横に黄色い三角模様がある淡水ガモ類です。ハトぐらいの大きさで、奥まった入り江や岸近くにいます。草の小さい実を食べます。(冬鳥として飛来)</p>
<p>オナガガモ(オス) 長い首と長い尾をした淡水ガモ類です。長い首を使って、他のカモ類が届かない水底からエサをとることができます。水草の葉や茎、草の実のほかに、水生昆虫なども食べます。(冬鳥として飛来)</p>	<p>キンクロハジロ(オス) 長い冠羽を垂らし、金色の目をした黒と白の海ガモ類です。水中にもぐって、貝や小魚などの動物質のエサをよくとりますが、水草などの植物質も食べます。(冬鳥として飛来)</p>
<p>カルガモ オス・メス同じ色で、くちばしの先には黄色い模様、腰の部分には白い三日月模様があります。淡水ガモのなかまです。草の実、葉、水草などの植物質や水生昆虫などの動物質のエサも食べます。全国の水辺などで一年中見られるカモです。</p>	

事業報告 環境にやさしい工作教室 12月18日(日)実施、参加人数13名

講師の笠原さんから、木の実や茎、アケビのつるなど自然の素材を利用して制作した飾りを紹介していただきました。作り方の説明を聞いて、各々制作に取り掛かりました。右の写真は、ダイオウショウの松かさを利用して作ったクリスマスツリーです。



自然とのふれ合いを

* 参加はすべて無料です。
 参加込み申しはビジターセンターへ

1月の行事予定

◎ 「野鳥観察会」1月22日(日)

- ・日 程 9:00 ~ 9:30 受付
 9:30 ~ 11:30 野鳥の話と野外観察
- ・場 所 桶ヶ谷沼ビジターセンター視聴覚室と沼周辺
- ・対 象 一般(小学生以下は保護者同伴で)
- ・内 容 観察小屋からカモ類の観察や沼周辺の冬の小鳥類の観察をします。
- ・持ち物 防寒具、あれば双眼鏡、メモ用紙など。